過疎地域の戦略: 新たな地域社会づくりの仕組みと技術

人口減、高齢化、過疎という今後日本全体として不可避な「３現象」から派生する諸問題にいち早く直面している鳥取県。その鳥取県で実際に起こっている生の問題に対して、鳥取大学の様々な専門の研究者達が当事者として、自治体と連携、頭を悩ませながら解決に当たってきた数年間の記録。地域に求められる地方大学のあり方を提示したものになっている。

「３現象」から派生する諸問題として相互扶助、国土管理、公共交通、健康、災害、インフラ管理、産業（観光等）、医療福祉などが分野横断的に取り上げられている。多くの問題に対する解決策については、広域・域内連携、自治体運営（大学との人事連携）、GIS、IT（遠隔医療やソーシャルメディア）等をキーワードにいくつかの方向性が示されている。安易に人口増加、流出阻止になびかず、「３問題」を前提にどう適応していくべきかが真摯に描かれている。